

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
犬学 I		動物健康美容学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位 (30時間)	必須	松岡 樹

授業の概要

トリマー・動物看護師として必要となる、犬の外観的特徴を理解し、多方面から犬についての説明を行うための知識を学びます。

犬の起源、骨格、筋肉、被毛などの知識を学び、その特徴と飼育管理における飼主様へのアドバイスを行える人材を育成します。

授業終了時の到達目標

- ・犬の起源を知り、理解する
- ・犬の体の仕組みについて理解する
- ・犬の日常生活のチェック方法について知る
- ・犬の行動としつけについて知る

実務経験有無 実務経験内容

無

時間外に必要な学修

毎回の授業の復習を行い、わからないところがあれば担当教員に質問するか自分で調べる。SNS、TV、映画、書籍などで犬を見て興味を持つ。ペットショップなどに出向き販売生体を見る。

回	テ　ー　マ	内　容
1	犬学とは	犬学の概要と授業目的、成績評価方法について、犬の起源、品種改良
2	犬の遺伝	純血種と遺伝について
3	犬の体のしくみ	体の名称、骨格、筋肉
4	犬の体のしくみ②	犬の骨格を描いてみよう
5	犬の体のしくみ③	眼と視覚、耳と聴覚、鼻と嗅覚、口と味覚
6	行動学	正常行動
7	行動学②	コミュニケーションと子犬の行動発達
8	行動学②	問題行動と問題行動の予防と治療
9	犬の行動としつけ	社会行動と本質的行動、ボディランゲージ、子犬の発達行動
10	栄養と健康	栄養管理
11	栄養と健康②	健康管理 (伝染病とワクチン接種、寄生虫の予防と駆除)
12	栄養と健康③	健康管理 (よくみられる皮膚、耳、目の病気)
13	栄養と健康④	健康管理 (歯の管理、嘔吐下痢)
14	栄養と健康⑤	健康管理 (老齢期に多い病気、事故、犬から人へ感染する病気)

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	期末試験を実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	イラストで見る犬学、授業プリント	期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 态			
犬学Ⅱ	動物健康美容学科／1年	2025／後期	講義			
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択			
90分	15回	2単位（30時間）	必須			
授 業 の 概 要						
さまざまな犬種、その犬種の特徴（被毛、毛色、原産地、身体的特徴など）について学ぶ						
授業終了時の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・犬種のスタンダードを理解し、説明することができる ・正しい犬体が描けるようになる 						
実務経験有無	実務経験内容					
無						
時間外に必要な学修						
毎時間小テストを行います。しっかり復習するようにしましょう。						
回	テ　ー　マ	内　容				
1	犬の体の基礎知識	目の形・色、耳の形、尾の種類、?み合わせ				
2	犬の種類	1 グループ				
3	犬の種類②	2 グループ				
4	犬の種類③	3 グループ				
5	犬の種類④	4 グループ				
6	犬の種類⑤	5 グループ				
7	犬の種類⑥	6 グループ				
8	犬の種類⑦	7 グループ				
9	犬の種類⑧	8 グループ				
10	犬の種類⑨	9 グループ				
11	犬の種類⑩	10 グループ				
12	犬の体	犬体描き、犬体模写				
13	犬の体②	犬体作り				
14	犬について	自分なりの犬種図鑑作成				

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	期末試験を実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
くわしい犬学、授業プリント		期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
公衆衛生学 I	動物健康美容学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

動物に関わる仕事に就いたら、動物だけではなく人の健康も守る必要があります。公衆衛生学 I では、動物や人の健康を守るために必要な感染症の知識や、消毒法、寄生虫について学習します。普段の掃除や動物の取り扱いをする際に、何に気をつけなければいけないかを理解し、飼い主様に説明できるようになります。

授業終了時の到達目標

- ・感染症についての正しい知識を身に付ける。
- ・正しい消毒方法について理解し、その場に合ったものを使うことができる。
- ・飼い主様にワクチン、寄生虫についての説明ができる。
- ・感染症の予防法を理解し、実践できる。

実務経験有無 実務経験内容

無

時間外に必要な学修

毎時間、授業初めに前回の授業内容の確認テストを行います。しっかり復習するようにしましょう。

回	テーマ	内容
1	公衆衛生と感染	公衆衛生とは何か、感染とは何か
2	感染経路と滅菌	さまざまな感染経路の種類と滅菌法
3	消毒法	消毒法について
4	消毒法②	さまざまな消毒法
5	院内感染とペットショップ内感染	院内感染とペットショップ内感染の対処法
6	ワクチンについて	ワクチンのメカニズム
7	ワクチンについて②	犬猫のワクチンについて
8	ワクチンについて③	狂犬病ワクチンについて
9	寄生虫	寄生虫の種類
10	寄生虫②	犬猫に寄生する寄生虫
11	寄生虫③	犬猫に寄生する寄生虫②
12	寄生虫④	犬猫に寄生する寄生虫③
13	寄生虫⑤	犬猫に寄生する寄生虫④
14	寄生虫⑥	犬猫に寄生する寄生虫⑤

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	公衆衛生学Ⅰで学習した内容の試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
わかる犬の病気		期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物健康管理・看護学	動物健康美容学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須
授業の概要			

トリマーとして求められる動物看護の基礎的知識と応急対応技術を身に付ける

授業終了時の到達目標

動物の健康管理と予防・日常の管理の基礎知識を身に付け、お客様にアドバイスができるようになる。
モデル犬のバイタルチェックや応急対応ができるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

グルーミング実習においてモデル犬の正常な状態、異常な状態を把握し、対応方法を学ぶ。

回	テーマ	内容
1	動物看護とはなにか	動物看護とは何か、動物病院で働く職種、動物病院の仕事について学ぶ
2	感染症とズーノーシスについて	感染症とはなにか、感染症の原因、ズーノーシスとはなにか
3	感染症予防のための清掃と消毒について	清掃と消毒の違い、清掃と消毒を行う目的、消毒用薬剤の種類と効果
4	犬のバイタルサインの確認とバイタルチェック方法1	BCSの判断、BCSの確認
5	犬のバイタルサインの確認とバイタルチェック方法2	TPRとは、TPRの判断、ワーク：TPRの確認
6	犬のバイタルサインの確認とバイタルチェック方法3	体温の判断、心拍数の判断、呼吸数の判断、ワーク：TPRの確認
7	動物の保定方法	トリマーと動物看護師の保定の違い、動物看護保定時の注意
8	犬のバイタルサインの確認とバイタルチェックのまとめ	トリミング時における事前チェック、ワーク：バイタルチェック
9	緊急処置における包帯の巻き方	緊急処置における包帯の巻き方、包帯を巻くときの注意、ワーク：包帯実習
10	顕微鏡の扱い方	顕微鏡とはなにか、顕微鏡の名称、顕微鏡のレンズについて、顕微鏡の扱い方、ワーク：顕微鏡で検体を観察する
11	動物に対する投薬	投薬とはなにか、投薬の効果と種類、投薬時の注意、ワーク：投薬をしてみよう
12	皮膚の病気と薬用シャンプーの知識を理解する	主な皮膚の病気、薬用シャンプーの種類と働き、ペットショップでの薬用シャンプーの説明
13	手術と麻酔	手術とは、外科的手術の種類、不妊手術、その他の手術、麻酔について、飼い主様への説明

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	病気の予防方法	予防とは何か、ペットの病気予防の基本、病気の予防の種類、犬のワクチンの種類、猫のワクチンの種類		
15	期末テスト	期末テストを実施		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
めざせ早期発見 わかる犬の病気	期末試験 実習・実技評価	60.0% 40.0%	実習・実技評価はワーク中の授業態度、実習意欲を判断します	

作成者:角田 有優美

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
飼養管理学 I		動物健康美容学科／1年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位 (60時間)	必須	角田 有優美

授業の概要

動物飼養に関する知識を学ぶ
動物の習性・生理・生態を理解する

授業終了時の到達目標

愛玩動物飼養管理士2級認定試験 合格

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

授業と並行して課題提出問題と教科書を利用して自主的に勉強を行う

回	テーマ	内 容
1	動物の体の仕組みと働き①	体の基本の仕組み 栄養を取り入れる
2	動物の体の仕組みと働き②	酸素を取り入れる 老廃物の排出、異物の撃退と解毒
3	動物の体の仕組みと働き③	情報を取り入れる、体内の情報伝達 子どもを生み育てる
4	動物の飼養管理①	動物の適正な飼養・管理 動物との正しいかかわり方・動物の健康管理法と疾病予防
5	動物の飼養管理②	環境衛生・飼養管理衛生・管理衛生
6	動物の飼養管理③	動物の飼養に伴う公衆衛生・社会生活上の問題
7	犬の飼養管理	犬とはどんな動物か・犬と暮らす 犬の気持ちを理解する・犬の健康管理
8	猫の飼養管理	猫とはどんな動物か・猫と暮らす 猫の気持ちを理解する・猫の健康管理
9	その他の哺乳類の飼養管理	ウサギ・ハムスター・モルモット・フェレット・チンチラ・シマリス
10	鳥類の飼養管理	鳥類の飼養管理概論、インコ・オウム類の飼養管理・フィンチ・カナリア類の飼養管理、ニワトリ・アヒル・ハトの飼養管理、繁殖 手乗り取りとして飼養する
11	爬虫類の飼養緒管理	ムカシトカゲ目、ワニ目、カメ目、有鱗目トカゲ類、有鱗目ヘビ類
12	爬虫類の飼養緒管理	学習とは何か・生得的な行動と学習した行動 学習の種類、刷り込み
13	動物のしつけ 学習理論	学習とは何か・生得的な行動と学習した行動 学習の種類、刷り込み
14	犬と猫の社会化	社会化とは何か、犬の社会化・猫の社会化

回	テ　ー　マ	内　　容
15	犬のしつけの基本	犬のしつけとは何か 犬の基本的しつけ方の実際

回	テ　マ	内　容		
16～30	愛玩動物飼養管理士2級認定試験過去問題	愛玩動物飼養管理士2級認定試験過去問題		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩動物飼養管理士 2級教本 第一巻	期末試験 検定結果	40.0% 60.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物行動学	動物健康美容学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位 (30時間)	必須

授業の概要

犬・猫の歴史、習性、行動、飼養方法について学ぶ

授業終了時の到達目標

動物の習性、行動について理解し、動物の行動の総合的解釈をめざし、ペットショップや動物病院で接する動物に対して最適な扱いを行えるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンマーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

「動物の行動と健康管理」を熟読し、事前学習を行う。

回	テーマ	内 容
1	動物行動学という学問について理解する	動機付け授業として、動物行動学の授業概要を説明 ・動物行動学学者について学ぶ
2	犬と猫の行動学の基礎「動物の家畜化」について	犬・猫の進化の歴史と、野生動物から犬と猫への家畜化の過程を学ぶ
3	犬学・猫学「犬と猫の行動学的特徴」を理解する	犬と猫の行動の特徴、外観的特徴について学ぶ
4	犬・猫の成長に伴う行動の発達と機能を理解する	動物の行動には、生まれつき本能として備わっている「生得的行動」と生後の学習により獲得する「習得的行動」について学ぶ
5	犬・猫の維持行動について学ぶ	犬猫の維持行動に伴う本能行動について学ぶ
6	犬・猫の社会行動について学ぶ	社会行動で見られるコミュニケーションについて学ぶ 視覚的コミュニケーション、聴覚的コミュニケーション、嗅覚的コミュニケーションについて学ぶ
7	犬・猫の生得的行動と習得的行動	行動学における学習理論について学ぶ
8	犬・猫以外の小動物の社会行動	鳥の社会行動について学ぶ 種類による「集団行動」や「単独行動」の特徴
9	動物行動学に携わった学者たちについて学ぶ	「生得的行動」と「習得的行動」についてのまとめ
10	しつけ・トレーニング（訓練）の理論と応用を学ぶ 1	しつけ、トレーニングの基本、学習理論について学ぶ
11	しつけ・トレーニング（訓練）の理論と応用を学ぶ 2	犬のしつけに応用できる古典的条件づけとオペラント条件づけについて学ぶ
12	習得的行動のまとめ	行動学における学習理論としての習得的行動について学ぶ

回	テ　ー　マ	内　　容		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
動物の行動と健康管理	期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%		

作成者:角田 有優美

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態			
ペットショップ学Ⅰ	動物健康美容学科／1年	2025／前期	講義			
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択			
90分	15回	2単位（30時間）	必須			
授 業 の 概 要						
ペットショップで求められる知識について学ぶ						
授業終了時の到達目標						
ペットショップで即戦力となる知識を身につける						
実務経験有無	実務経験内容					
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。					
時間外に必要な学修						
社会へ出る前にペットショップについてしっかり理解をし、必要な基礎知識を修得するため、テキスト・プリントを熟読する						
回	テ　ー　マ	内　容				
1	導入	科目の目的、ペットショップとは ペットショップでのスタッフの役割、必要な知識とは				
2	日本のペット産業の概要①	日本のペット産業の概要①				
3	日本のペット産業の概要②	ペットショップの仕組み ペットショップにかかる仕事				
4	ペットショップの職業倫理と法律	ペットショップの責務				
5	ペットショップの職業倫理と法律②	動物の愛護及び管理に関する法律 人と動物の共通感染症について				
6	ペットショップの職業倫理と法律③	ペットショップでの販売業務に関するルールと法律				
7	ペットショップの職業倫理と法律④	ペットショップの仕事に役立つ資格				
8	ペットの歴史と生態	犬の歴史と生態				
9	ペットの歴史と生態②	猫の歴史と生態				
10	ペットの歴史と生態③	小動物の特徴と生態				
11	犬と猫の繁殖と遺伝	繁殖を学ぶ心得と血統書の意義				
12	犬と猫の繁殖と遺伝②	犬の発情と交配 猫の発情と交配				
13	犬と猫の繁殖と遺伝③	遺伝について 犬の遺伝様式				
14	犬と猫の繁殖と遺伝④	遺伝について② 犬の遺伝性疾患				

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ペットショップ 基礎&実践	期末試験 確認テスト	60.0% 40.0%	

作成者:角田 有優美

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ペットショップ学Ⅱ		動物健康美容学科／1年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	角田 有優美

授 業 の 概 要

ペットショップで求められる知識について学ぶ

授業終了時の到達目標

ペットショップで即戦力となる知識を身につける

実務経験有無

実務経験内容

有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。
---	---

時間外に必要な学修

社会へ出る前にペットショップについてしっかり理解をし、必要な基礎知識を修得するため、テキスト・プリントを熟読する

回	テ　ー　マ	内　容
1	導入	前期の復習 ペットショップでのスタッフの役割、必要な知識とは
2	ペットショップで取り扱う生体	鳥類について (サイズ、分類、基本行動)
3	ペットショップで取り扱う生体②	鳥類について (鳥類の特徴、飼育管理)
4	ペットショップで取り扱う生体③	うさぎについて (歴史、基礎知識、分類、品種、特徴)
5	ペットショップで取り扱う生体④	うさぎについて (飼育管理)
6	ペットショップで取り扱う生体⑤	ハムスターについて (分類、品種、特徴、飼育管理)
7	ペットショップで取り扱う生体⑥	観賞魚について (品種、飼育管理)
8	ペットショップで取り扱う生体⑦	フェレットについて (歴史、基礎知識、分類、特徴、飼育管理)
9	在庫管理と顧客管理	在庫管理と顧客管理の意味、内容
10	接客技術	ペットショップ特有の接客、注意点
11	接客技術②	苦情への対応
12	独立開業を目指す	開業の種類、必要な資格
13	独立開業を目指す②	独立開業までの歩み、資金、心得
14	後期まとめ	後期に授業内容のまとめと復習

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	筆記試験を実施する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ペットショップ 基礎実践	期末試験 確認テスト	60.0% 40.0%	

作成者:矢吹 実

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ドッグトレーニング		動物健康美容学科／1年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	矢吹 実

授業の概要

仔犬から成犬のしつけ法と、問題行動の改善について学ぶ

授業終了時の到達目標

ペット従事者として、犬のしつけ方法を習得する。お客様が飼育している愛犬の様々な問題行動に対しての改善アドバイスが出来るようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンマーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

学校や家庭で実際の犬に対して実践する

回	テーマ	内容
1	動機付け。犬のしつけと訓練とは	ドッグトレーニングの必要性について理解する
2	ペットを飼育するために必要なこと	ペットの位置づけ、ペット従事者の役割について学ぶ。
3	日常生活に必要なしつけとは	人と犬が共存するために必要なしつけについて学ぶ。
4	しつけを教えるためのルールとサイン	犬を飼育する場合に必要な知識や準備について・視符と声符について学ぶ。
5	しつけ時に必要なもの	しつけを教えるために必要なリードやおやつについて学ぶ。
6	飼い主として、トレーナーとして	飼い主が愛犬をしつける場合の心構えについて学ぶ。
7	しつけをはじめる	しつけを始める時期とポイントについて学ぶ。
8	アイコンタクト	犬の注意を引く、犬に名前を覚えさせる方法について学ぶ。
9	ハウスのしつけを教える	ハウスのしつけの教え方について学ぶ。
10	トイレのしつけを教える	トイレのしつけの教え方について学ぶ。
11	スキンシップと遊び方	犬とのコミュニケーションをとるための方法について
12	散歩のしつけとトレーニング	散歩のしつけの教え方について学ぶ。
13	留守番のしつけとトレーニング	留守番のしつけの教え方について学ぶ。

回	テ　ー　マ	内　　容		
		飼い主として守るべきマナーについて学ぶ。		
14	飼い主のマナー			
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
動物の行動と健康管理		期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング総論		動物健康美容学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松岡 樹

授業の概要

ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を学ぶ。
グルーミング、トリミング実習で必要な知識を学ぶ。

授業終了時の到達目標

- ・ペット美容学についての基礎知識、必要性を学び理解する。
- ・ベーシック作業を行う基礎知識を習得する。

実務経験有無

実務経験内容

無

時間外に必要な学修

毎時間、授業初めに前回の授業内容の確認のため、小テストを行います。復習するようにしましょう。

回	テーマ	内容
1	グルーミング総論とは。 実習道具について	<ul style="list-style-type: none"> ・科目内容と、学ぶ目的を理解する。 ・実習道具の使い方、名称を覚える。
2	・グルーミングとは ・グルーミング作業について。	<ul style="list-style-type: none"> ・グルーミング作業の流れと作業内容を理解する。 ・グルーミングとは（グルーミング用語・内容）
3	グルーミング作業① 「ブラッシング」	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラッシングとは ・ブラッシングの必要性とやり方
4	グルーミング作業② 「爪切り・耳掃除」	爪切り・耳掃除の必要性とやり方
5	グルーミング作業③ 「ベイジング」	<ul style="list-style-type: none"> ・ベイジングとは ・ベイジングの必要性とやり方、時短のコツ
6	グルーミング作業④ 「ドライинг」	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライングとは ・ドライングのやり方と時短のコツ
7	グルーミング作業⑤ 「クリッピング」	<ul style="list-style-type: none"> ・クリッピングとは ・クリッピングのやり方と注意点
8	グルーミング作業⑥ 「トリミング」	<ul style="list-style-type: none"> ・トリミングとは ・トリミングの必要性
9	グルーミング作業⑦ 「リボン付けの知識と練習」	リボン付けについての説明 (作り方と付け方、付ける練習)
10	グルーミング作業⑧ 「モデル犬の保定」	<ul style="list-style-type: none"> ・保定とは ・保定の必要性とやり方、注意点
11	トリミング犬種とグルーミング犬種	トリミング犬種とグルーミング犬種の違い
12	ペットクリップとショークリップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットクリップとショークリップの違い ・カットスタイルの意味
13	ペットクリップ (プードル、ポメ、シーズー、マ ル)	一般的なペットクリップのやり方
14	猫のトリミング	猫のトリミングの必要性

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	グルーミング総論で学習した内容の試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	JKC ドッググルーミングマニュアル	期末試験 確認テスト	60.0% 40.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング各論	動物健康美容学科／1年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を学ぶ ・研修先で即戦力となるグルーミングの基礎知識を学ぶ 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を身に付ける ・研修先で即戦力となるグルーミングの基礎知識を身に付ける 			
実務経験有無	実務経験内容		
無			
時間外に必要な学修			
毎時間初めに前回の授業内容の確認テストを行います。しっかり復習してください。			
回	テ　ー　マ	内　容	
1	前期の復習	前期「グルーミング総論」の復習	
2	動物病院とペットショップでのグルーミングについて	動物病院とペットショップとで求められるグルーミング力の違いについて	
3	犬と猫の皮膚・被毛の管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・犬と猫の皮膚、被毛の管理に必要な知識を学ぶ ・被毛の状態、手入れ、育毛方法を理解する 	
4	犬のトリミング（サマーカット、サマーマイアミ）	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーカットとは、サマーカットのやり方 ・サマーマイアミとは、サマーマイアミのやり方 	
5	犬のトリミング②（全バリ）	<ul style="list-style-type: none"> ・全バリとは ・全バリのやり方、注意点 	
6	犬のトリミング③（四肢残し）	<ul style="list-style-type: none"> ・四肢残しとは ・四肢残しのやり方 	
7	犬のトリミング④（テディ体）	テディベアの体の作り方	
8	犬のトリミング⑤（テディ顔）	テディベアの顔の作り方	
9	犬のトリミング⑥（ケネル後躯）	ケネルの後躯の手順	
10	犬のトリミング⑦（ケネル前躯）	ケネル前躯の手順	
11	犬のトリミング⑧（ケネルクラウン～ネック）	ケネルクラウンからネックにかけての手順	
12	犬のトリミング⑨（マルチーズ、ヨーキー、シーズー）	マル、ヨーキー、シーズーのカットの仕方	
13	犬のトリミング⑩（ポメ、シュナ、ビション）	ポメ、シュナ、ビションのカットの仕方	
14	荒刈りとチッピング	荒刈りとチッピングの違いについて	

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・JKC ドッググルーミングマニュアル ・ドッグ・グルーマーズ・プロフェッショナル・ワークブック	期末試験 課題・レポート 確認テスト	60.0% 20.0% 20.0%		

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態			
グルーミング基礎実習	動物健康美容学科／1年	2025／前期	実習			
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択			
90分	75回	5単位（150時間）	必須			
授 業 の 概 要						
<p>トリマーとして必要な基礎的なグルーミング技術の習得を目的とする。</p> <p>動物の扱い方、道具の名称・使用方法、ブラッシング、ベイジング、ドライングなど、サロン業務で頻繁に行われる作業を中心に実践的に学ぶ。</p>						
授業終了時の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・グルーミングに必要な基本道具の名称と使用方法を理解する ・動物の保定方法を安全に行えるようになる ・基本的なブラッシング、ベイジング、ドライングを実施できる ・動物に対する思いやりと衛生意識を持った取り組みができる 						
実務経験有無	実務経験内容					
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。					
時間外に必要な学修						
<ul style="list-style-type: none"> ・1日1回、犬体の絵を描く ・シザー練習 						
回	テ　ー　マ	内　容				
1～6	導入と基本の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への心構えを育て、安全意識を持って動物と接する ・道具に慣れ、正しく扱えるようになる ・犬との信頼関係を意識した保定、接し方の基本を学ぶ 				
7～20	ブラッシングと下準備	<ul style="list-style-type: none"> ・被毛の状態を見極め、適切な手順でブラッシングできるようになる ・犬の皮膚を傷つけず、効率よくもつれを取る 				
21～40	シャンプーの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手順で安全かつ衛生的な洗浄を行う ・動物の皮膚に優しい洗い方、すすぎ方を身に着ける 				
41～50	ドライングのと犬の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の皮膚を傷めず、被毛の美しさを保った乾かし方をマスターする ・作業効率を考えた手順の工夫を学ぶ 				
51～75	細部のケア	<ul style="list-style-type: none"> ・トリマーに必須の衛生管理作業を安全に行う技術を習得 ・体調異常の早期発見にも繋げる観察眼を養う 				
教科書・教材		評価基準	評価率			
<ul style="list-style-type: none"> ・JKC ドッググルーミングマニュアル ・ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック 		実習・実技評価 課題・レポート 期末試験	40.0% 20.0% 40.0%			
			実習・実技評価は実習中の授業態度や協調性、モデル犬の扱いなどを総合的に評価します			

作成者:角田 有優美

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態			
グルーミング応用実習	動物健康美容学科／1年	2025／後期	実習			
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択			
90分	90回	6単位（180時間）	必須			
授 業 の 概 要						
グルーミング基礎実習で身に着けた技術をもとに、犬種別の応用カットなどを強化する。						
授業終了時の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・犬種ごとのグルーミングを理解し、再現できる ・作業時間を意識したグルーミングができる ・犬のトラブルや健康異常への対応ができる 						
実務経験有無	実務経験内容					
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。					
時間外に必要な学修						
<ul style="list-style-type: none"> ・1日1回、犬体の絵を描く ・シザー練習 						
回	テ　ー　マ	内　容				
1～14	応用技術の基礎固めとプードルのスタイル習得	<ul style="list-style-type: none"> ・プードルの基本的なスタイル（ケネル、テディ）の実践 ・顔バリやプー足の技術習得 				
15～30	犬種別応用カット技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・各犬種の骨格や被毛の特性に合わせたカット技術 ・各犬種のスタイルを時間内に仕上げる 				
31～45	小型犬のデザインカットと中型犬のグルーミング技術	<ul style="list-style-type: none"> ・チワワやダックスのナチュラル仕上げと飾り毛処理 ・ミックス犬の個性に合わせたカット技術 ・柴、コーギーなどのダブルコート犬種の下毛処理 ・小型犬、中型犬のグルーミングを時間内に仕上げる 				
46～60	作業スピードの向上と複数犬の対応技術	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を意識したスピードグルーミングの練習 ・2頭の犬のグルーミングを時間内に終える ・作業効率を上げるための工夫 ・2頭以上の犬を時間内に仕上げる（良い状態で） 				
61～90	総合技術の仕上げ	サロントリマー試験に向けた総合的な技術の確認とブラッシュアップ				
教科書・教材	評価基準	評価率	その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・JKCドッググルーミングマニュアル ・ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック 	実習・実技評価 課題・レポート 期末試験	40.0% 20.0% 40.0%	実習・実技評価は実習中の授業態度や協調性、モデル犬の扱いなどを総合的に評価します			

作成者：甲斐 滋美

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
PC実習		動物健康美容学科／1年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	甲斐 滋美

授業の概要

Microsoft Office Wordアプリを使用し 文字入力から文書作成までの基本を学ぶ。日本語の入力および 文書作成における基礎的な能力を身につける。入力速度を上げることで 仕事をする上で必要な最低限のスキルを習得する。

授業終了時の到達目標

日本語ワープロ検定の合格

実務経験有無	実務経験内容
有	病院にて秘書として3年、医療事務として20年の実務経験 秘書・事務として病院施設でOffice製品を駆使していた場面を用いて学生がイメージしやすいように授業を展開する。 専門学校および幅広い年齢層の学習指導経験から、将来的に役立つ実力を身に着けるような指導を行う。

時間外に必要な学修

授業終了後の復習を行い 次回の授業までに必ず課題を提出する。授業課題を確認し 進捗を意識して自宅で課題を進める。自宅や休憩時間にタイピング練習を習慣づける。

回	テーマ	内 容
1	ワープロ検定の概要 合格基準・出題範囲について	ワープロ検定の概要を説明 速度問題で入力体験（実力確認）
2	Microsoft Office Wordの基本操作 ワープロ検定の設定についての知識	Word2019でのページ設定の説明 ワープロ検定速度、文書作成問題で入力練習
3	速度問題 文書問題	ワープロ検定、文書問題でレイアウト等の要点説明 同じ問題でTime練習
4	速度問題 文書問題	速度練習3級文書問題でレイアウト、表の入力学習
5	速度問題 文書問題	準2級文書作成問題 レイアウト学習速度問題で入力練習
6	速度問題 文書問題	2級文書作成問題を使用し きりとり線の練習
7	速度問題 文書問題	準1級および1級の文書作成問題を使用し 地図の練習 各自レベルに合わせて個別に練習
8	検定リハーサル	各レベル別問題で模擬練習
9	検定リハーサル	各レベル別問題で模擬練習
10	検定リハーサル	各自レベル別に確認検定当日の要点指導
11	速度問題 文書問題	次の目標級学習へ
12	速度問題 文書問題	次の目標級学習
13	速度問題 文書問題 実習課題	次の目標級学習実習課題

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	速度問題 文書問題 実習課題	次の目標級学習実習課題		
15	期末課題	期末課題		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 課題 課題・レポート	20.0% 30.0% 50.0%	

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 态
ビジネス文書	動物健康美容学科／1年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須

授 業 の 概 要

ビジネス文書3級に合格するための知識の修得

授業終了時の到達目標

- ・ビジネス文書3級合格
- ・ビジネス文書をつかうことが出来る

実務経験有無

実務経験内容

有

福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

ビジネス文書3級合格に向けてテキストを熟読し、過去問題で確認する

回	テ　ー　マ	内　容
1	導入	ビジネス文書検定の受け方・試験の範囲・3領域の説明
2	過去問題で検定を理解する。	過去問題で解説
3	過去問題で検定を理解する。	過去問題で解説
4	実用文を書くにあたって知っておくべき用語	社内文書の常用漢字、現代仮名遣いの使い方
5	実用文を書くにあたって知っておくべき用語②	仮名書きすべき文字、送り仮名の付け方
6	実用文を書くにあたって知っておくべき用語③	一般用語、用字、慣用語
7	実用文を書くにあたって知っておくべき用語④	一般用語、用字、慣用語
8	実用文を書くにあたって知っておくべき用語⑤	グラフ、用紙、郵便物
9	過去問題を解く	過去問題を解く
10	過去問題を解く	過去問題を解く
11	過去問題を解く	過去問題を解く
12	過去問題を解く	過去問題を解く
13	過去問題を解く	過去問題を解く
14	過去問題を解く	過去問題を解く

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ビジネス文書検定3級ガイド	期末試験 課題・レポート 検定結果	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:角田 有優美

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
サービス接遇	動物健康美容学科／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須
授業の概要			

サービス接遇3級試験の合格に向けて、サービス業務に対する心構え、対人心理、応対の技術、口のきき方、態度・振舞などを理解する。サービス(相手に満足を提供する)と接遇(相手に満足を提供する行動)を理解する

授業終了時の到達目標

サービス接遇3級試験合格。サービス業のスタッフとしてサービス接遇をこなせる

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務

時間外に必要な学修

検定合格の知識を身につけるため、テキストを熟読し、過去問題で試験問題に慣れる

回	テーマ	内容
1	導入	導入、検定の受け方、試験の範囲、説明
2	過去問題を見て検定を理解する	過去問題で解説
3	過去問題を見て検定を理解する②	過去問題で解説
4	サービススタッフの資質	必要とされる要件
5	専門知識	サービス知識
6	一般知識	社会知識
7	対人技能	人間関係、接遇知識
8	実務技能	問題処理
9	模擬テスト	各自過去問題を解く
10	模擬テスト	各自過去問題を解く
11	模擬テスト	各自過去問題を解く
12	模擬テスト	各自過去問題を解く
13	模擬テスト	各自過去問題を解く
14	模擬テスト	各自過去問題を解く

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	姿勢と笑顔		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
サービス接遇3級試験ガイド 問題	過去	期末試験 課題・レポート 検定結果	30.0% 30.0% 40.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅰ	動物健康美容学科／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須
授業の概要			

専門学校での学習の意味を理解し、就職活動に向けて必要なスキルや考え方、自己を表現できる方法を学ぶ。

授業終了時の到達目標

- ・履歴書が書ける。
- ・面接での受け応えができる。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション 社会人基礎講座で学ぶことの解説 「就職活動の世界」を知る	担当教員自己紹介 社会人基礎講座授業の解説と学ぶ意義について
2	モノの見方 就活基礎教育(1)	自分自身のモノの見方を把握しよう 人それぞれにモノの見方は異なることを理解しよう
3	偶然がつくる人生	意識の持ち方で見えるものが変わってくる
4	「就職活動の世界」を知る	社会を見るセンスを磨く 自分はどんなニュースに興味があるのか
5	考え方 就活基礎教育(2)	いろんな考え方を知ることで様々な視点から物事を捉えられる
6	話の聴き方 就活基礎教育(4)	相手の話の聴き方 聴く姿勢、聞き方のコツがあります
7	文章の書き方と構成の仕方 就活基礎教育(3)	伝えたいこと=文章で見える化 要点をおさえる。事実と解釈は別もの。
8	・自分を知る工夫(1)(2) ・学生時代に力を入れたこと	(1) 記憶から自分をたどる (2) 他者の力を借りる 行動の動機や根拠を大切にして書く
9	履歴書の書き方と伝え方	履歴書は自分自身の「事実」を書くもの 基本や手順を追って理解しよう
10	自己PR(自己紹介文)を書く	自己PRの基礎をおさえよう
11	自分に合った仕事・会社を探す	働くうえで自分が大切にしたいことはなにか。 どんな環境で働きたいのか。
12	仕事の見つけ方	どんな仕事に就こうと考えているのか その仕事に就くにあたって必要なスキルはなんだろうか。
13	志望動機を書く	志望動機を組み立てる3つの柱 「自己分析」「情報収集」「会社でやりたいこと」

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	世の中の仕事を知る	自分の興味のある業界はどこなのかを選んでみよう また、なぜそれに興味を持つ理由はなにか考えよう。		
15	面接の基本	面接の中身から外見（上辺）まで。面接の準備に向けて。 面接は自己表現の場。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材 ・就活動画教材	課題・レポート 実習・実技評価	50.0% 50.0%	50.0%	実習・実技評価は グループワーク時 の積極性や授業態度を評価します

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ	動物健康美容学科／1年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須
授業の概要			

専門学校での学習の意味を理解し、就職活動に向けて必要なスキルや考え方、自己を表現できる方法を学ぶ。

授業終了時の到達目標

- ・履歴書が書ける。
- ・面接での受け応えができる。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	「就職活動の世界」を知る	社会人基礎講座授業の解説と学ぶ意義について
2	モノの見方 就活基礎教育(1)	自分自身のモノの見方を把握しよう 人それぞれにモノの見方は異なることを理解しよう
3	偶然がつくる人生	意識の持ち方で見えるものが変わってくる
4	「就職活動の世界」を知る	社会を見るセンスを磨く 自分はどんなニュースに興味があるのか
5	考え方 就活基礎教育(2)	いろんな考え方を知ることで様々な視点から物事を捉えられる
6	話の聴き方 就活基礎教育(4)	相手の話の聴き方 聴く姿勢、聴き方のコツがあります
7	文章の書き方と構成の仕方 就活基礎教育(3)	伝えたいこと=文章で見える化 要点をおさえる。事実と解釈は別もの。
8	・自分を知る工夫(1)(2) ・学生時代に力を入れたこと	(1) 記憶から自分をたどる (2) 他者の力を借りる 行動の動機や根拠を大切にして書く
9	履歴書の書き方と伝え方	履歴書は自分自身の「事実」を書くもの 基本や手順を追って理解しよう
10	自己PR(自己紹介文)を書く	自己PRの基礎をおさえよう
11	自分に合った仕事・会社を探す	働くうえで自分が大切にしたいことはなにか。 どんな環境で働きたいのか。
12	仕事の見つけ方	どんな仕事に就こうと考えているのか その仕事に就くにあたって必要なスキルはなんだろうか。
13	志望動機を書く	志望動機を組み立てる3つの柱 「自己分析」「情報収集」「会社でやりたいこと」
14	世の中の仕事を知る	自分の興味のある業界はどこなのかを選んでみよう また、なぜそれに興味を持つ理由はなにか考えよう。

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	面接の基本	面接の中身から外見（上辺）まで。面接の準備に向けて。 面接は自己表現の場。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材 ・就活動画教材	出席率 授業態度 課題・レポート		40.0% 20.0% 40.0%	